

## 中学校部活動も

### 外部指導者など早急に検討を



**Q** 県内教員の長時間勤務と部活動指導という内容で、千葉県教育委員会は今年6月に部活動時間は、週2日以上は休養日を設け、練習時間は平日2時間、休日3時間程度に抑制する目安を通知しました。また、文化部活動においても、運動部同様の練習時間が定められるようであります。教育委員会と中学校は連携を取り合い、外部指導者の導入など町独自の具体的な対応をしないと中学校の部活動は後退し、近い将来無くなってしまいうように思われますが、どのような考えをお持ちなのかお伺いします。



**A** 町教育委員会では、学校における働き方改革を推進しながら教員・生徒双方に有効な部活動の運営を支援していきます。



## 財政の硬直化の改善を図る

### 必要がある



宮 蘭 博 香 議員



**Q** 自主財源の乏しい当町としては、毎年、当初予算編成については苦慮していることと思えます。今こそまさに職員の英知を集結し、将来を見据えると同時に住民サービスを念頭に置いたきめ細かな予算を組み上げていかなければなりません。また、平成29年度の決算から見た当町の財政状況は、歳入では町税が固定資産税の増収から

増額となったものの、歳出では人件費、扶助費、公債費からなる義務的経費がそれぞれ増加したほか、物件費、繰出金も増加したことから財政の硬直化を示す経常収支比率が前年度と比較して1・1ポイント悪化し、90・3%なっています。経常収支比率は2年連続の上昇となり普通交付税の合併特別措置額の段階的な縮減による一般財源の減少及び



**A** 重点施策を明確化し、限られた財源を優先度や効率性の高い事業に重点的に予算配分することで健全財政を維持しつつ、20年後も選ばれるまちを目指し「明日へつなぐ、横芝光町の新しいカタチをつくる」をスローガンに魅力あるまちづくりに向けた予算を編成することとしました。また、財政の硬直化の改善策としては、自主財源の確保に積極的に取り組むとともに、歳出では公共施設の統廃合、全公共施設供給電力の契約方法の見直しやLED化、その他既存事業の見直しなどによる経常経費の削減に努め、安定的で持続可能な行財政運営の確立を目指します。



秋鹿幹夫 議員

# 安心安全な、より良い交通社会へ

## 関係機関と協力し 啓発活動を図る

**Q** しており運転撲滅に向けて、町民への啓発が急務と考えられるが当町の状況は。

**A** 山武警察署交通課に問い合わせたところ、管内での「あり運転」の検挙実績は無いとのことですが、関係機関と協力し啓発活動を行っていきたいと考えております。

**Q** 警察も昨今の状況から、あまり運転に対し免許処分を行う等、取り締まりを強化している様です。この様な情報を周知して少しでも安心して頂くことも良いかと思えますし、まずはこの様なケースに遭遇した際は、自分の身を守るといった方法も大切で、まずは道を譲れるなら譲ってやり過さず。それでもしつこいようなら車からおりず、速やかに警察に連絡するこ

とだと思えます。これらのような現在の状況、それと対策を日頃から知っておくことが必要かと思えますので、広報紙や防災無線、町民が集まりやすいイベント等様々な媒体での周知も考えられますが、いかがが。ごもっともだと思いますし、あまり運転だけではなく交通安全の面も含めて啓発活動を行ってまいりたいと考えております。

**Q** ドライブレコーダー設置補助金を創設してはどうかと考えます。現在、一般の個人、または法人に補助金を設けている自治体があります。防犯カメラより安価で定点では無いので、高い防犯効果や警察への一定の協力体制も確立できるとのことで補助金制度をつくったそうです。

**A** 現在、あまり運転や交通事故遭遇時の証拠映像を記録できることから注目され、急速に普及が

進んでいるドライブレコーダーですが、比較的安価でありますので、町においてドライブレコーダー設置補助金の創設の予定はありません。

**Q** デマンドタクシー等、公共交通底上げの検討結果は。

**A** 現在、空港の機能強化と併せて検討を進めている土地利用ビジョンでは、策定委員から土地利用を検討するうえで、住民の利便性の向上に資する公共交通の改善も併せて検討が必要であるとのご意見をいただいておりますので、循環バスの利便性向上や、成田国際空港へのシャトルバス、デマンドタクシー車両の増加など、空港の機能強化による地域振興枠を活用した公共交通の底上げについても、検討を行っているところであります。

現状でタクシー台数の増台はできないものか。現在のは3台で回している、オペレーターも併せて約2800万円程度掛かっている状況です。アンケート調査については毎年実施して利用者の意見を聞いておりますので、既存の3台の中でより予約の取りやすいシステムを検討しております。台数の増加に付きましては、空港機能強化に伴う地域振興枠等を活用して、デマンドタクシーの車両増を含めた公共交通全体の底上げについて検討しているところであります。

▼循環バス横芝光号



▲デマンド(乗合)タクシー

一般質問

# 児童・生徒の 学校給食費完全無料化を

## 平成31年度から実施したい



川島 富士子 議員

**Q** 児童・生徒の学校給食費完全無料化を

**A** 当町での学校給食費の無料化実施には、約8千万円の財源が必要となり、この経常的な財源の確保が最大の課題であります。この課題を成田空港容量拡大により交付が見込まれる空港周辺対策交付金地域振興枠を活用し、学校給食費の無料化を実施することで町民の皆様にも空港機能の強化

えております。なお、空港機能強化のより一層の理解を図るためにも、事業の精査や経常経費の削減等により必要財源の確保に努め、3月議会定例会に31年度予算案として提案できるように鋭意努力する所存です。

に完備されていない現状です。屋内運動場（体育館）の空調設備は、日常的な体育学習はもちろんのこと、朝会活動、集会活動、音楽活動、運動部活動、文化部活動など児童生徒の多くが活動する場所であり、猛暑の影響による熱中症などの健康被害防止を図るためには大変重要なことです。また、地域の各種活動の拠点として利用されるほか、災害発生時には指定避難所として多くの地域住民を長期間受け入れることが想定され、適切な温度管理など良好な生活環境を確保することが求められます。空調設備を早期に対処することは

に完備されていない現状です。屋内運動場（体育館）の空調設備は、日常的な体育学習はもちろんのこと、朝会活動、集会活動、音楽活動、運動部活動、文化部活動など児童生徒の多くが活動する場所であり、猛暑の影響による熱中症などの健康被害防止を図るためには大変重要なことです。また、地域の各種活動の拠点として利用されるほか、災害発生時には指定避難所として多くの地域住民を長期間受け入れることが想定され、適切な温度管理など良好な生活環境を確保することが求められます。空調設備を早期に対処することは

財政的にも非常に難しい状況にあります。今後、夏季や冬季の異常気温が懸念されることから、空調設備を含む各種対応策を検討してまいります。



▲学校給食の一例

の強化に係るメリットを享受できた点について、空調設備は全校とも

**Q** 学校体育館に冷暖房設備の設置を

**A** 本町の小中学校9校は、校舎棟全体に関する普通教室、特別教室等は全国に先駆けて空調設備が100%完備され、児童生徒にとって夏季の暑さや冬季の寒さに対応できる環境が確保されております。しかし、屋内運動場（体育館）の空調設備は全校とも



▲日吉小学校屋内運動場

**Q** 骨髄移植助成制度の創設を

**A** 平成30年3月31日現在で、当町のドナー

登録者数は45名であり、今年度、町で実施した献血時には、9名の方のドナー登録がありました。新規ドナー登録者数を増やすことが、一人でも多くの移植希望者を救うことにつながることから、ドナー登録の周知に努めるとともに、助成制度の導入についても、前向きに検討してまいります。

※その他の質問

- ・ 自主防災組織の推進および地区防災計画への支援について
- ・ 防災意識の向上と実践的避難所運営訓練の実施について
- ・ 風疹の抗体検査の無料化について
- ・ 電子母子健康手帳アプリの導入について
- ・ 就学援助制度における前倒し支給（中学生の更なる前倒し支給と、小学生における入学準備金の早期支給）について



森川 忠 議員

# 議会承認の補助金未払いは 議会軽視では

## 業務の執行権限は町長にある

**Q** 未だシルバー人材センターへの運営補助金の支払いが執行されていないが議会承認された補助金未払いは過去にはない。運営改善に関しては支払い後検討し、次年度の問題とすべきでは。

**A** 事業受託の際の対応や、就業機会の不公平等について、たびたび町へ苦情が寄せられたことから、平成30年2月14日付で、運営改善の検討の要請をしました。それを受け、センター内部で対応等を検討されていたようですが、6月9日に開催された定時総会では役員の改選が否決され、後日、改めて理事が選任されたところであり、まだ運営体制が改善されたとは判断できかねることから、補助金の交付について保留しているというところを、9月議会にて説明しました。

その後、10月9日付けで、運営改善要請に対する改善策について、センターから回答が提出されました。また、11月21日に千葉県公益認定等審議会による運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査があり、シルバー人材センターの運営現状について、いくつかの問題点が指摘されました。シルバー人材センターはこの現状を受けとめ、近々に理事会を開催し、問題解決に対する改善策を議論することとされており、今後の改善の実施状況を踏まえ、交付を検討いたします。

その後、10月9日付けで、運営改善要請に対する改善策について、センターから回答が提出されました。また、11月21日に千葉県公益認定等審議会による運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査があり、シルバー人材センターの運営現状について、いくつかの問題点が指摘されました。シルバー人材センターはこの現状を受けとめ、近々に理事会を開催し、問題解決に対する改善策を議論することとされており、今後の改善の実施状況を踏まえ、交付を検討いたします。



▲シルバー人材センター

**Q** 3月議会で予算が慎重に審議され可決承認された。補助金の未払いは過去にはなく、二元代表制での町長のこのような行為は議会軽視、無視ではないか。

**A** 業務の執行については町長の権限であり、議会軽視ではありません。

**Q** 老朽化が激しい消防組合横芝光署の建て替え計画は

**A** 現在、適正配置とされたエリアでの活用可能な遊休町有地の調査、新たに用地取得した場合の財政負担等を検討した中で、用地選定を進めるべく準備しています。

**Q** 駅西側の踏切の開閉が緊急車両通過の妨げになるケースが散見されるが、改善を要望する。

**A** 横芝駅西側の踏切は、上り列車が駅に進入する場合、列車が駅を逸走した場合に備え、駅進入時に警報が鳴り遮断機が降りその後、列車が駅を出発し踏切を通過した後に警報が停止し遮断機があがるため踏切遮断時間が長くなっています。踏切警報機が鳴つ

てから列車が来るまで約31秒が警報時間の標準ですが、ここでは下り約1分、上り約3分と長くなっています。緊急車両は他を通ることなく開閉を待っている状況です。

**Q** 三役全員と課長の多くが休暇の日があつたが業務に支障はないのか

**A** 休暇が重複してしまった場合は、電話連絡で指揮伝達ができる体制を取っています。なるべく重複しないよう日程調整に努めています。



▲横芝駅西側の踏切

# 国保の均等割軽減を

## 慎重な判断が求められる



山崎 義貞 議員

**Q** 高すぎる国保税に加入者は悲鳴をあげています。全国知事会・市長会などが公費負担の減額を求めています。日本医師会などの医療関係者も国保皆保険制度を守るために、低所得者の保険料を引き下げよう求めている。国保税の公費負担や均等割の軽減策を求めます。

**A** 国保制度が抱える構造的課題は全国共通の課題であります。国保制度を持続可能な制度とするためには、国の責任で財政基盤を強化していただく必要があると考えます。平等割・均等割を引き下げた場合は、所得割で賄う必要があり、高所得者は賦課限度

額があるため一定額以上の課税はされないものの、中所得者層の税率が上がるといった厳しい状況になると、とが予想されることから、慎重な判断が求められます。

**Q** 東陽病院の常勤医師確保で地域医療の充実を図ることや、医師確保は病院経営の改善にもつながるものではないか。「夜間・休日医療体制を充実してほしい」との町民要求に応える必要があるのではないか。

トを活用し、更なる医師確保に努めてまいりる所存です。夜間・休日の医療体制は、常勤医だけでは負担が大きく、パート医師を派遣していただいている状況です。現時点での医療技術スタッフ数では救急患者全てを受け入れられる体制ではないのが実情です。

**Q** 免許返納者が増えて公共交通の充実も欠かせません。循環バスの増便を求めるものです。また、乗り合いタクシーの飯倉駅や九十九里病院への乗り入れについてどのように考えるのか。

**A** 循環バスの増便は、規定から、現在のバス2台体制では走行距離が上限に達しており、増便は不可能であります。仮にバス1台を新規に増やす場合、運賃収入を考慮しない運行経費は概ね1,300万円程度必要になります。空港の機能強化による地域振興枠を活用し循環バスの利便性向上も検討しているところで

す。デマンドタクシーの「町外乗り入れ」については、輸送時間の増加を招き、効率的な運行に支障をきたすと考えています。

**Q** 成田空港A滑走路の騒音被害を受ける住民に対して、要望を聞く住民説明会の設置は。

**A** 今回の更なる機能強化については、多くの住民の皆さんの理解と協力を得ることが非常に重要だと思っております。A滑走路運用時間延長については合意しており、当該地区などのご意見を伺いながら、具体的な状況に際して対応したいと考えています。



▲東陽病院



▶成田国際空港